



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 42

発行 平成28年2月19日(金)

文責 校長 長嶺吉浩



教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、創造性に富み、社会の変化に対応できる知性豊かな生徒の育成

目指す生徒像

主体的に学び、確かな学力を身につける生徒(知)
広い視野をもち、思いやりのある生徒(徳)
心身ともに健康で、生き生きと生活できる生徒(体)



2年生

～期末テスト実施～
2月19日(金) 期末テスト1日目が終了しました。インフルエンザが心配される中、体調不良による欠席者がいましたが予定通り実施できました。Tタイムや図書館学習等の充実など学習環境が整い、充分勉強して試験に臨むことができました。まだまだ試験が続きます。努力を継続させ、習慣となるまで学習に取り組ませたいと思います。冬期間になり勉強意欲が高まっている生徒が多くみられます。



1年生



霧箱による放射線の観察

◇放射線教育が行われました◇

12日(金) 5校時は放射線への理解を深め、生活の中にどのような影響があるのか、全校生で考えてみました。福島市の除染プラザ職員の方においでいただき、器具をお借りし実験の説明をしていただきました。普段できない体験をして生徒は理解が深まりました。



放射線の遮蔽実験

～Tタイムの取り組み～



多目的室で数学の質問

2月19日(金) の期末テストに向けて、Tタイムの時間の学習のを充実させました。多目的教室で、英語・数学・理科の質問コーナーを設けて、教員と問題を解く時間をとりました。教室では自分でできるところを、分からぬところは多目的教室で分かるようになるまで徹底して学習していました。すばらしい学習意欲です。

田澤先生講演より(竹林No.22詳細)

～人間の記号化の蔓延(まんえん)後編～

～前編より～ 例えコンビニで買ったおにぎりを食べながらテレビを見ているのでしょうか、家族の顔は見てないので「家族のお顔」が描けません。そこで食卓の家族を「記号化」してしまう子どもが40%を越えています。この事実は、約半数の子どもが、寂しい養育環境の中で生きていることを意味しています。「自分の子がよければよい」という問題ではなく、子どもたちは一緒に大人になり、次の世代を背負う運命があります。つまり「次世代」の危機を警鐘しているのです。日本の15歳の少年が、「世界一寂しい」、「世界一自尊心の低い」という数字が非現実的ではないことを傍証しています。

～学校運営協議会開催～



会長様より委嘱状の交付

お集まりいただき、学校の評価や次年度の経営方針を説明しご意見を頂戴しました。ご多用のなかご参加くださりありがとうございました。

～音楽の合同授業～

今週から音楽の授業で全校合唱練習が始まりました。インフルエンザの感染が心配される中でのマスクを着用しての練習です。歌声に真心が感じられました。

～表彰・合格おめでとうございます～

- 第5回中山義秀記念作文コンクール 佳作 3年 本柳采伽さん 2年 佐藤 瑠さん
- 実用英語検定 4級3名 5級2名
- 東西しらかわスパリングコンテスト合格者 47名

